

NSゼロヨン

下地調整用プレミックスモルタル

NSゼロヨンは、極薄塗りから厚塗りまでの材料に要求される性能を追求し、接着耐久性・強度発現性等に優れ、抜群の作業性を有する下地調整塗材です。

特長

- NS ハイフレックス HF-1000 の混入により、ポリマーセメントモルタルとして接着耐久性に優れ、長期間高い接着力を保持します。
- ゼロ接点から 15mm までの幅広い補修ができます。
- 抜群の作業性、仕上り性を有しており、作業効率向上と工期短縮が図れます。
- 各種仕上材の下地調整に幅広く使用できます。

標準仕様

製品名		荷姿	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準割合	塗厚	標準施工面積
NS ゼロヨン	# 10	25kg/ 袋	内・外壁、 内部床、 手摺天端、 天井	コンクリート、 PC 板、 ブロック、 ALC パネル	クロス、 水性塗料、 エマルジョン系仕上塗材、 P タイル、 タイルカーペット	HF-1000*1 2.0kg 清水 約 7.5 ℓ	0 ~ 2mm	約 20m ² (1mm 厚)
	# 20					HF-1000*1 2.5kg 清水 約 6.0 ℓ	0 ~ 5mm	約 10m ² (2mm 厚)
	# 35		内・外壁、 内・外床、 手摺天端		仕上塗材、P タイル、 タイルカーペット、 セラミックタイル	HF-1000*1 1.5kg 清水 約 5.8 ℓ	0 ~ 15mm	約 2m ² (10mm 厚)

注) *1: NS ハイフレックス HF-1000

上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※各生産工場により、標準割合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で割合してください。

練混ぜ時間が短い場合、強度低下の要因になりますので、練混ぜ時間は 3 分を確保してください。

性能

試験項目	試験結果			JIS A 6916の品質基準			
	# 10	# 20	# 35	C-1	CM-1	CM-2	
軟度変化(%)	-8	0	-3	±20			
耐ひび割れ性	ひび割れの発生なし			ひび割れがないこと			
耐衝撃性	ひび割れ及び剥がれなし			ひび割れ及び剥がれがないこと			
曲げ強さ(N/mm ²)	—	6.8	6.9	—	3.0 以上	5.0 以上	
圧縮強さ(N/mm ²)	—	26.0	26.1	—	5.0 以上	10.0 以上	
付着強さ(N/mm ²)	標準養生	1.8	2.4	3.0	0.7 以上	0.7 以上	
	低温養生	0.7	1.1	1.4	0.5 以上	0.5 以上	
吸水量(g)	0.9	0.5	1.2	2.0 以下	2.0 以下	2.0 以下	
透水量(mL/h)	—	0.8	0.2	—	1.0 以下	0.5 以下	
長さ変化(%)	—	-0.15	-0.11	—	0~-0.15	0~-0.15	
仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性	外観	割れ・膨れ及び剥がれなし			割れ・膨れ及び剥がれがないこと		
	付着強さ(N/mm ²)	1.4	1.6	2.1	0.7 以上	0.7 以上	
仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性(N/mm ²)	—	—	1.4	—	—	0.6 以上	

※#10 は C-1、#20 は CM-1、#35 は CM-2 の物性を有しています。

日本化成プロダクト(株)関東品質管理

※上記試験結果は、JIS 等の規格に定められた条件下で得られた測定値です。

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

下地処理 (吸水調整材塗布)

乾燥後、NS ハイフレックス HF-1000 の 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

*吸水の激しい下地の場合、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守してむらなく丁寧に塗布してください。

*ブロック等、下地の動きが想定される場合は、適切なひび割れ抑制措置が必要です。

練混ぜ

NS ゼロヨン 25kgに対し、所定量の NS ハイフレックス HF-1000 と水を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

*ドライアウトの原因となりますので、所定量のNS ハイフレックスHF-1000 を必ず混入してください。

*NS ゼロヨン #35 をタイル下地材として使用する場合には、下地処理に NS ハイフレックス HF-1000 の 5 倍希釈液を塗布し、必ず所定量の NS ハイフレックス HF-1000 を混入してください。

*強度低下の原因となりますので、標準配合を厳守してください。加水後の材料は夏季 40 分以内、冬季 60 分以内を目安に使い切り、練足し、水を加えての練直しは避けてください。

塗付け

こて圧をかけて下地に擦り込むように塗り付け後、所定の厚さになるよう塗り付けてください。

仕上材の種類によって、金こて押え、木こて押え、刷毛引き等をおこなってください。

*浮きや割れの原因となりますので、「ガリッ」と擦ってから所定厚に塗り付けてください。

*1 回の塗厚は、標準仕様の塗厚を厳守してください。

*標準仕様の塗厚をこえる場合は、2 回以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は、夏季 3 日以上、冬季 7 日以上としてください。ただし、NS ゼロヨン #20 で全面塗りをおこなう場合は 1 回の塗厚を 3mm 以下、NS ゼロヨン #35 で全面塗りの場合は、1 回の塗厚を 8mm 以下としてください。

*塗り継ぐ場合、下塗面は金こて押えを避けてください。

*JASS 15 左官工事の標準仕様に従って施工してください。塗厚が 25mm をこえる場合はステンレスアンカーピンとステンレスラス等を併用してください。

養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

*強度が出ないおそれがあるため、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しい場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。

*初期の雨掛り等は、強度不足・白華の原因となりますので、シート掛け等の養生をおこなってください。白華した場合には水洗い等により除去してから、次工程の作業をおこなってください。

*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので、塗り付け後仕上げまでの養生は、夏季 7 日以上、冬季 14 日以上おこなってください。



使用上の注意

- 気温が 3°C 以下になる場合には、施工を避けてください。
- 本品は既調合品です。指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。
- 練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。
- 使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。
- 製品は製造年月日を確認し、3 ヶ月以内を目安に使用してください。

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。

#10

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306194
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

#20

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0306195
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

#35

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	2012002
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/



日本化成株式会社



製品問合わせダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。